

# 小倉工業北辰会報

編集兼発行  
北九州市小倉北区  
白萩町6-1  
福岡県立小倉工業高校  
北辰会事務局  
TEL 093(571)1124  
FAX 093(583)4924

## 赴任のご挨拶



教頭 越智 裕兒氏

この春の人事異動で、昨年度おられた山田教頭先生が、戸畑工業高校の方へ校長として転出されました。

それに伴い、この度戸畑工業高校から赴任して参りました越智といひます。北辰会の皆さん、どうぞ宜しくお願いいたします。

小倉工業高校は、百年の歴史と伝統のある学校です。まだこちらに来て、二週間ほどしか経っていませんが、質実剛健を基本とした校風と、生徒達の士気の高さ、職員の意気込みと対応の素早さに感心しています。

その一例として、毎朝の職員朝礼のことを紹介します。

職員朝礼は、毎朝八時三十分より十分間行われます。このわずかな時間に、本日の学校行事の流れや会議の連絡、明日の行事や各学年の対応、そして約六百名の生徒を各学年やクラスごとに分けに組まれた行事にスムーズに動かしていくための多くの連絡が、プリントや手短かな口答で次々に出てきます。朝礼を進行する私も、初めはその日の流れがよくつかめないまま進めて

いました。こんな進め方で、本当に生徒達がついてくるのか、心配でした。しかし生徒達は、これらの多くの行事に整然と並び、きちんと応えている。誰一人としてだらけている生徒はいない。生徒達もすごい、指導している職員もすごい、と改めて思った次第です。

私の専門科目は、工業(電気・電子)です。初めての赴任校以来、工業高校ばかりを四校経験し、部活やもりのづくりの各大会に生徒を送り込みましたが、一度として小倉工業高校の生徒に勝った試しはありませんでした。

小倉工業高校は、技術を競い合うものづくりコンテストやロボット競技、またスポーツにおいても陸上部や空手道部と、常に全国大会に進み、福岡県をリードし代表する学校です。この校風と伝統は、これからも守っていかねばなりません。これが、これに満足してはいけなないと私は考えます。県を代表し、全国大会に出れば、更に上位の学校がいます。この全国レベルをいつも意識し、日本一になるにはどんな取り組みが必要なのか。また、そういった優秀な要素を秘めた生徒達を、どのように磨けばより一層光り輝く生徒達になるのか。これは、教頭として私に科せ

## 転任のご挨拶



前教頭 山田 晴隆氏

教頭として赴任し、わずか一年間という短い期間でございましたが、在任中は北辰会同窓の皆さまには本当に温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年の創立百十周年記念の事業や諸行事において、皆様方の母校並びに後輩に対する熱い思いを強く感じたことを、今懐かしく思い出しています。本当にお世話になりました。

思えば、小倉工業高等学校は、私にとりまして母校同様の深いご縁がある大切な学校です。昭和五十一年四月に、新規採用教員として初めてご縁を頂いた学校が小倉工業高校でした。工業化学科でクラス担任として科主任として多くの卒業生の巣立ちを見守ることができました。校務でも進路指導、生徒指導、教務の仕事に携わり、文字どおり一人前

た。希望と同時に、その責任の重さを痛感してまいりました。これまでお世話になりました小倉工業高校での多くの経験を生かし、同じ北九州地区にある戸畑工業高校の発展に力を尽くし成果を上げることが小倉工業高校への恩返しになるものと考え、誠心誠意精励する所存であります。両校の生徒達が文武両面でもともに競い合う姿を早く見たいと願っています。

また、小倉工業高校に在籍する生徒諸君には、倉工健児の誇りを忘れず夢を追い続け、将来の北辰会を担ってくださることを期待しています。

最後に、私は、「縁は異なるものの味なもの、人の出会いは宝物」という言葉が好きです。小倉工業高校とのご縁、同窓会の皆さまとの出会いを大切にしたいです。新しい学校で頑張ってください。皆さま方のご健康と北辰会の益々のご隆盛を祈念して、私の挨拶いたします。

平成十四年の人事異動で私も小倉工業高等学校を巣立つことになり、後髪を引かれる思いで学校とお別れをしました。よもや創立百十周年の祝いに職員として参加することは出来ずと考えておりました。ところが平成二十一年四月に創立百十周年記念式典が執り行われますその年に教頭として再度赴任する機会を得ました。同窓会の皆様、父母教師会の皆様のご支援を賜り、職員や地域の方々と力を合わせ、無事成功裡に記念行事を終えることができ、心より感謝し喜んでおります。これは私と小倉工業高等学校の深いご縁という言葉で語るほかありません。

桜の花満開の平成二十二年四月一日、志を胸に抱いて福岡県立戸畑工業高等学校に校長として着任しまし

## 北辰会入会式

卒業生総数  
二二、三九名に

平成二十一年度卒業生一九五名の入会式が二月二十七日母校体育館で行われました。

創立以来の卒業生総数は二二、三九名となります。卒業時の入会者は今年が最後となり、在校生は入学時に会員として入会しています。

四月七日の新生入会式により在校生会員は三年生一九三名、二年生一九八名、一年生二百名、合計五九二名となりました。



## 会費納入のお願い

新しい年度を迎え、今年も北辰会会費二千円を納入していただく時期となりました。

暗く長い不況のトンネルに入り、いつ抜け出せるか好転する気配も見えない状況の中にもかかわらず、創立百十周年募金と重なり、会員の皆様には負担をお願いしておりますが、年会費により、北辰会活動が成り立っています。

北辰会事務局では、母校発展の為努力を重ね、事務の効率化と経費節減に務める所存です。

会員の皆様方のご理解ご協力をいただき、年会費二千円の納入をお願いいたします。

## 教育振興基金へのお願い

百周年を機に設立された教育振興基金も会員の皆様

## 北辰会名簿改訂のお知らせ

北辰会員の絆となる会員名簿は五年毎に改訂・出版されていますが、早いもので来年三月が出版時期となります。

全国の同窓諸兄の近況を知る貴重な資料となります。北辰会では小野高速印刷(株)に名簿改訂の編集・出版業務を委託しました。できるだけ正確な名簿となるよう現在調査中です。同窓各位の御協力をお願い致します。

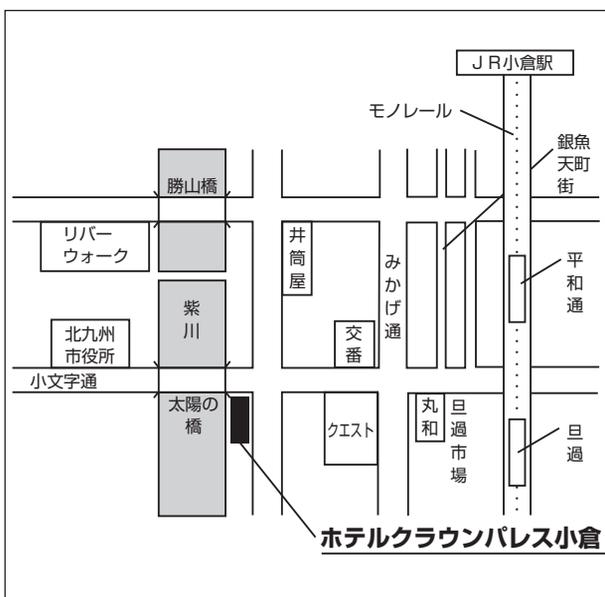
## H22年度北辰会総会

(当番幹事 S62年卒)  
(当番幹事 H11年卒)

日時 平成22年5月23日(日)  
場所 ホテルクラウンパレス小倉  
北九州市小倉北区馬借1-2-1  
TEL (093) 511-4111

時間 ○受付 15時より  
○総会 16時より  
○懇親会 17時より

会費 ¥5,000



# 創立百周年記念事業の報告

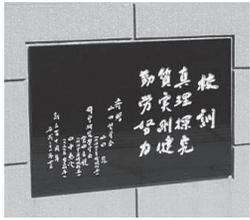
母校創立百周年にあたり「二十一世紀の礎を築き、世界にはばたけ倉工健児」をスローガンに掲げ、学校・PTA・北辰会が力を併せて取り組んだ記念事業も滞りなく全て順調に完了したことを会員各位にご報告いたします。

記念事業としては次に掲載いたします。

一、グランドメインスタンド建設

グランド観覧席中央部に間口15m奥行4.5mの鉄筋コンクリート造で体育祭での本部として放送設備を備えた多目的に使用できる観覧席、屋上には日除けテントを二張り分のスペースを取っています。

国旗・県旗・校旗の掲揚台を新設し、山田奨学会・山田晃氏(明治四十年機械科卒)科学研究奨学会・倉田主税氏(明治四十一年機械科卒)田中恵次氏(大正七年電気科卒)三人の先輩を長く顕彰する記念プレートを掲げました。



校訓及寄贈者名プレート



メインスタンド

一、マイクボックス購入  
主に部活動用に使用しています。(北辰会員も使用できます)

事務局へ問い合わせ下さい)



一、玄関前植込みに四国の青石で築庭

正面に校歌の歌詩「北九州の活天地・意気天を衝く大丈夫」を彫り込んでいます。

一、北辰館改修工事



創立七十周年に建設された北辰館は四十年を経過し、老朽化が進み、外廻り及二階部分は県費での耐震工事の対象となりました。

二階・三階部分は北辰会の記念事業として部分改修を予定していましたが、工事が進み、不良部分が多数判明し、全面改修することになりました。

百周年記念に復元された校内及記念館・玄関廻りに教育塔(モニュメント)及記念館壁面の説明文も整い、北辰館周辺に鳴海教諭記念碑の移設等周辺整備もできましたことをご報告致します。



北辰館1F

鳴海教諭記念碑

# 学校だより

## 吹奏楽部

二月六日第四回定期演奏会が北九州芸術劇場で開催されました。百周年記念行事として行われ、職員、生徒全員が会場に足を運び父母教師等ご協力頂きました多くの皆様、またご来場頂きました方々に重ねて心からお礼申し上げます。



## 創立百周年記念演奏会を終えて

第四回定期演奏会が開催できたことを感謝いたします。併せて、広告・寄付等で北辰会の方々をはじめ学校関係者等ご協力頂きました多くの皆様、またご来場頂きました方々に重ねて心からお礼申し上げます。

定演は部員三十四名で、三部構成での演奏会でした。諸先輩方には、まだまだ未熟な演奏でお聞き苦しいとは思いますが、生徒も日々努力していますので、今後にご期待いただければと思います。

最後になりましたが、吹奏楽部を教員・父母・OB会が一体となってバックアップしたいと考えていますので、北辰会の皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

吹奏楽部OB会事務局 福井 一憲 (昭和五十年機械科卒)

## 特許庁長官が来校生徒に講演

二月二十五日特許制度一二五周年記念事業の一環として、細野長官が来校し、知的財産に関する授業を見学の後、「知的財産で未来を拓く君たちに期待すること」と題して講演が行われました。

はじめに、「エジソン、リンカーン、マイケル・ジャクソンの共通点はなんでしょう?」というクイズで講演は始まりました。答えは「全員特許を取得した経験がある」というものですが、「ここでマイケル・ジャクソンの有名な

## 野球部

北九州市長杯争奪大会  
一回戦 小倉工4-1折尾  
二回戦 小倉工7-0小倉商  
三回戦 小倉工3-2九国大付属  
準決勝 小倉工5-1戸畑  
決勝 小倉東8-4小倉工

## ラグビー部

久万高原町長杯ラグビー大会  
Bブロック  
一回戦 小倉工56-12山口宇部  
二回戦 小倉工31-0愛媛U17  
決勝戦 小倉工46-10高松北

## 空手道部

北九州地区空手道選手権大会  
優勝 鏑坂智宏(電二年)  
三位 司城和雄(機三年)



Webとっきよ 平成22年4月号 (No.12) より引用しました。

# 平成二十二年度 創立記念日式典挙行

創立百十一年を迎える平成二十二年度創立記念式典は、四月三十日母校体育館にて、生徒・教職員、ならびに父母教師会および同窓会の役員、そして記念講話講師を務める卒業生が参列して執り行われました。

学校長式辞の中で、山本久信校長は、「本校の輝かしい伝統は、長い年月を掛け、その折々の関係の方が心を尽くし、力を尽くして築き上げたことはいままでもない。そして今、本校に身を置く我々は、百十一年に及ぶ歴史の価値や意味を、伝統という形で継承し、次の世代にバトンタッチする使命がある。そして「生徒諸君には、伝統に驕ることなく、謙虚な心を持ち、困難の時それをねのける積極的な生き方を心掛けてほしい」と述べました。

来賓祝辞として、亀田敏行父母教師会会長は学校を伝統という根を深く張った大樹の幹にな

## 北辰館改修工事 完成披露会報告

創立百十周年記念事業の一つである北辰館改修工事が完成し、その披露会が四月三十日挙行されました。

まず、砥石山天疫神社宮司 福屋末次郎氏(昭和二十年機械科卒)によって、北辰館改修工事の竣工が執り行われました。北辰会、学校、父母教師会そして施工会社の代表者が玉串を奏奠いたしました。

続いて、森一政北辰会会長代行、山本久信校長そして来賓の挨拶がありました。それから北辰館改修工事に携わった工事会社四社に感謝状(プレート)を贈呈して、披露会は終了しました。

## 創立百十年史・DVDの販売について

- ・創立百十年史 ..... 一冊¥2,500 (百年史PDF/百十年史ビデオ/校歌等収録)
- ・体育大会ダイジェストDVD ..... 一本¥2,000

記念体育大会ダイジェストDVDの収益の一部は教育振興基金へ寄付いたします。尚、送料込、振込手数料は購入者負担となります。

ご購入を希望される方は北辰会ホームページ又は同窓会事務局までご連絡ください。

## 教職員の異動

- 【退職】
  - ▽白川 博章(社会)
  - ▽田中 武幸(電子機械)
  - ▽本村 廣海(電気)
- 【転出】
  - ▽山田 晴隆(教頭) 戸畑工業高校校長へ
  - ▽瀬戸 邦博(参事補佐次長) 小倉聴覚特別支援へ
  - ▽前川 暁(国語) 大学院修学休業
  - ▽小山 翔平(数学) 北九州市立中学校へ
  - ▽大谷都志忠(理科) 京都高校へ
  - ▽入舟 幸治(電子機械) 戸畑工業高校へ
- 【転入】
  - ▽井上 毅(電子機械) 教育センター指導主事へ
  - ▽池之上哲朗(電気) 田川科学技術高校へ
  - ▽上野 純一(電子) 戸畑工業高校へ
  - ▽内田 圭子(工業化学) 戸畑工業高校へ
  - ▽久保 明美(事務室) 小倉商業高校へ
  - ▽越智 裕兒(教頭) 戸畑工業高校より
  - ▽鶴我 美鈴(参事補佐次長) 田川科学技術高校より
  - ▽合屋 恵美(国語) 常勤講師
  - ▽佐藤 宏文(社会) 門司大翔館高校より
  - ▽松本 弥志(数学) 常勤講師
  - ▽藤元 敦子(理科) ひびき高校より
  - ▽寺尾 和彦(電子機械) 戸畑工業高校より
  - ▽山本 隆司(電子機械) 常勤講師
  - ▽坂田 浩(電気) 戸畑工業高校より
  - ▽大塚 敏之(電気) 八幡工業高校より
  - ▽中村 慎次(電子) 香椎工業高校より
  - ▽上鶴 幸一(工業化学) 香椎工業高校より
  - ▽千々和柳毅(事務室) 小倉聾学校より